

生物統計学の道標

研究デザインから論文報告までをより深く理解するための24講

監修：坂巻 顕太郎 順天堂大学 准教授
篠崎 智大 東京理科大学 准教授



医療統計を学びたいすべての学生・院生、医療職、研究者の方々へ

- 医学系研究に必要な統計の知識を研究計画の立案、研究デザイン、データ分析、論文投稿といった一連のプロセスとともに学ぶことができます。ていねいな解説を読み進めることにより医療統計の考え方が身につく良書です。
- 医療統計や研究手法を初めて学ぶ人だけでなく、これまでに勉強してきたけれど学び足りない、もっと理解を深めたいという人にもおすすめです。
- 月刊誌「厚生指標」の好評連載『医療職のための統計シリーズ』をさらに編集・加筆して1冊にまとめ上げました。

目次

- | | | | |
|------|---------------------------|------|-----------------------|
| 第1回 | 医学系研究における生物統計学の役割 | 第13回 | 発症や治癒までの期間を考慮する |
| 第2回 | 量的研究におけるリサーチクエスションの立て方 | 第14回 | 回帰モデリング |
| 第3回 | リサーチクエスションに対応する臨床研究デザインの型 | 第15回 | 無計画な解析における問題 |
| 第4回 | 分析研究で用いる代表的な臨床研究デザインとその特徴 | 第16回 | データ数に関する議論 |
| 第5回 | データの分布と1変数の要約 | 第17回 | 統計解析ソフトRによる図表の作成と統計解析 |
| 第6回 | 2つの変数の関係と要約 | 第18回 | 文献検討の進め方 |
| 第7回 | 推測の基礎 | 第19回 | 既存データの利用 |
| 第8回 | 検定とP値 | 第20回 | メタアナリシスの紹介 |
| 第9回 | 臨床研究で注意をしたい代表的なバイアス | 第21回 | 報告ガイドラインの紹介 |
| 第10回 | 交絡バイアスに対処するための方法 | 第22回 | 記述疫学 |
| 第11回 | 回帰モデル | 第23回 | 質問紙の作り方 |
| 第12回 | イベント発症リスクに対する回帰モデル | 第24回 | スクリーニング検査の評価 |

一般財団法人
厚生労働統計協会

<https://www.hws-kyokai.or.jp/>

TEL: 03-5623-4123 FAX: 03-5623-4125

定価 2,970円(税込)(本体2,700円+税)

A5判 260ページ

ISBN 978-4-87511-894-7



取扱い書店名

◎ご注文は下記の注文書により最寄りの書店・全国の官報販売所をご利用ください。

-----✂️キリ線-----

注文書

発行	一般財団法人 厚生労働統計協会		
書名	生物統計学の道標－研究デザインから論文報告までをより深く理解するための24講－ ISBN 978-4-87511-894-7 定価 2,970円(税込)(本体2,700円+税)		
事業所名		所属名	
お名前			
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL	FAX	

年 月 日

○番線印